

田中まどかの市議会通信 vol.23

発行責任者：日高市議会議員 田中まどか（会派 みんなの会）

2021. 10. 15 発行



コロナ対策、新制度 例年と比較できない令和2年度決算

9月議会では、決算特別委員会の委員として令和2年度の決算を審査をし、認定しましたが、本当に戸惑ってしまう決算でした。一般会計の歳入金額だけを見ても、国からの**何十億というコロナ対策の給付金、交付金**などによって、当初予算187億円が最終的に267億円に膨らみました。加えて、**幼児教育無償化の通年実施**や新たに導入された**会計年度任用職員制度による人件費の変動**が重なったこと、多くの事業が中止・縮小になったことで、歳出金額や予算執行率などの成果指標が例年と比較できないという、異例の決算でした。

全体的に見て、コロナ対策ははじめ国の政策に翻弄された一年と言っていいでしょう。感染症とそれに伴う不安や経済的損失から市民の健康と生活をどう守り、支えるか。市として大変苦心した一年だったのではないのでしょうか。それは今も続いています。



令和2年度決算から見たものは・・・

◆国から市へのコロナ対策臨時交付金の総額は8億2000万円。うち約4億円が教育のICT化に使われました。必要なこととは思いますが、学びの保障のためには、**少人数学級の実現、教員の増員と働き方の改善**のほうがかつ効果があると考えます。

◆市税の収納率は99.9%。まだコロナの影響が限定的だったためか税収は思ったより減らず、滞納も少なくなっています。また、**ふるさと納税**が前年度より1億円以上増える一方で、**ひとり親世帯などの困窮**は深刻です。格差がますます広がっているのではと危惧します。

◆国により全国で新たに導入された「会計年度任用職員制度」では、非常勤職員は1年度(4月1日から翌年3月31日)の間で必要とされる期間だけ勤務します。日高市では250～260人が雇用されていますが、ほとんどがパートタイムで、任期は自動的に継続されません。以前より給料等待遇はよくなっていると市は言いますが、制度じたい**官製ワーキングプアを正当化**するものとも言われ、問題が多い制度です。市民へのサービスや正職員の業務への影響も見えていく必要があります。

住民票等をコンビニ交付するための条例改正に反対

え？便利なのになぜ反対？と思われるよね。皆さんは年に何回証明書類をとりますか？人口割では年に一人1回です。そのために年間**850万円の経費と1通につき1500円のコスト**をかけることには賛成できません。マイナンバーカードを使用することも紛失やトラブルの原因となります。

一般質問 コロナ対策 自宅療養者に支援を

8月中旬から9月上旬にかけ、県内でも入院できない患者が急増。医療機関や保健所の業務がひっ迫して自宅で亡くなる方も出ました。

県の配食サービスなどがすぐに届かない状態だったため、市は9月1日からパルスオキシメーターと食料を届ける事業を始めました。しかし自宅療養者の個人情報や市に提供されず、**保健所が自宅療養者に市の事業を紹介→希望者が市に連絡→市の職員が届ける**という手順で行われます。

本来、入院すべき人ができない状況などあってはなりません。国・県は今回露呈した公衆衛生対策の弱点を強化してほしいと思います。

市は今後、独自に酸素濃縮器や携帯用酸素ボンベなどを確保し、年末年始の第6波に備えます。



詳しくはこちら

辞職勧告決議 裁判経過

日高市議会が出した私への辞職勧告決議(昨年3月)を違法として、本年さいたま地裁川越支部に市を提訴した裁判の経過です。

- 4月13日 訴状提出
- 4月15日 県庁にて記者会見
- 6月17日 第1回口頭弁論
- 8月26日 弁論準備手続
- 10月12日 弁論準備手続



現在は双方が提出する書面と電話会議による争点と証拠の整理が続けられています。





ひだか 子どもみらい通信 vol.20



☆知って、考えたい子どもの未来☆



子どもを守る！通学路の安全は大人の責任

6月に千葉県八街市で下校中に起きた児童5人が死傷した事故を受け、市は通常の総点検のあとに再度点検を行いました。その結果、改善が必要とされたのは67か所。これをもとに、市は来年度から5年間の「日高市第5期通学路整備計画」を策定します。

最終年度となった「第4期通学路整備計画」の進捗は、53か所のうち県が管理する7か所は完了し、警察が管理する10か所も年度内には完了見込み。市が管理する36か所は対応中の4か所を残し完了ということで、おおむね計画通り進んでいるようですが、八街市の事故現場がそうであったように、道路の幅やガードレール設置の要望があっても、用地取得に多額の費用がかかったり、地権者との交渉が難しい場合、思うように進みません。国、県、市、警察、電線管理者などが今後一層連携を強めるとともに、優先して予算を組み整備を進めていってほしいです。

PTA、地域の方の見守りボランティアなど多くの方が子どもたちの安全のために尽力されています。私たちも通学路に草木がはみ出していないか、車や物が通行を邪魔してないかなど気をつけたいですね。また、家の建て替えなどの際には、敷地をほんの少し後退させる、歩行者や運転者の視界をさえぎる塀は建てないなどのご協力をお願いします。



第4期通学路
整備計画は
こちら

学校運営に子どもたちの声を

日高市では、コミュニティ・スクール構想の初期段階から先進自治体である三鷹市に学ぶことができました。その三鷹市では、7月に学校運営協議会に関して、「**児童生徒の意見を十分尊重するため、児童生徒の意見を聞く機会を積極的に設けなければならない**」と規則を改正しました。

「児童生徒が自ら学校の運営について考え、意見を述べることは、人間力、社会力の育成にも有用」「子どもの人権を尊重する」「教育を受ける当事者である児童生徒の意見を踏まえた学校づくりをする」という三鷹市の理念と実践を、日高市でもぜひ取り入れていただきたいと思います。ものごとを当事者抜きで決めない。大事なことです。

形だけでないオンライン授業に

感染症対策で加速したGIGAスクール構想で児童生徒一人に1台の端末がいき渡りましたが、いまだに全校での本格的な使用はされておらず、分散登校の間も、使ったのは朝の会だけという学校もありました。本来GIGAスクール構想には、「**一人ひとりの理解や能力、適性に合わせ、その子に最も適した学びを行う**」「**感染症の影響下でも学びを保障する**」という目的があります。



10月6日の臨時議会でもオンライン授業に必要な大型モニターの予算(1550万円)が可決されました。これでほぼすべての教室に設置されます。目的達成のため、有効に使ってほしいと思います。

連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台 1-29-2

TEL 090-9003-7344

ブログ：<http://madokatanaka.livedoor.blog/>

FAX 042-982-0599

フェイスブック：<https://www.facebook.com/madoka.tanaka.140>

メールアドレス：madoromi29@hanno.jp

ブログ

フェイスブック

